



PRESS RELEASE 2021.03.17

大阪中之島美術館の開館日決定！ 開館記念展覧会と公演のお知らせ

■開館日は2022年2月2日に

現在建設が進んでいます大阪中之島美術館（大阪市北区）について、開館日が2022年2月2日に決定しましたのでご案内いたします。また、開館を記念する展覧会として「Hello! Super Collection 超コレクション展 —99のものがたり—」と「モディリアーニ展 —愛と創作に捧げた35年—」、記念公演として「森村泰昌×桐竹勘十郎創作公演プロジェクト 人間淨瑠璃（仮）」の開催が決まりました。



©大阪中之島美術館準備室

1983年に美術館構想が発表されてから約40年。大阪の政治・経済・文化の中核であり、水都のシンボルである中之島にいよいよ新しい美術館が誕生します。「大阪と世界の近代・現代美術」をテーマとするコレクションを核に、アートの新たな価値を提示する展覧会や多彩なイベントを開催して、発信力と創造力をもつプラットフォームとなることをめざします。つきましては、開館日・開館記念展覧会・公演の告知についてご協力賜りますようお願い申し上げます。



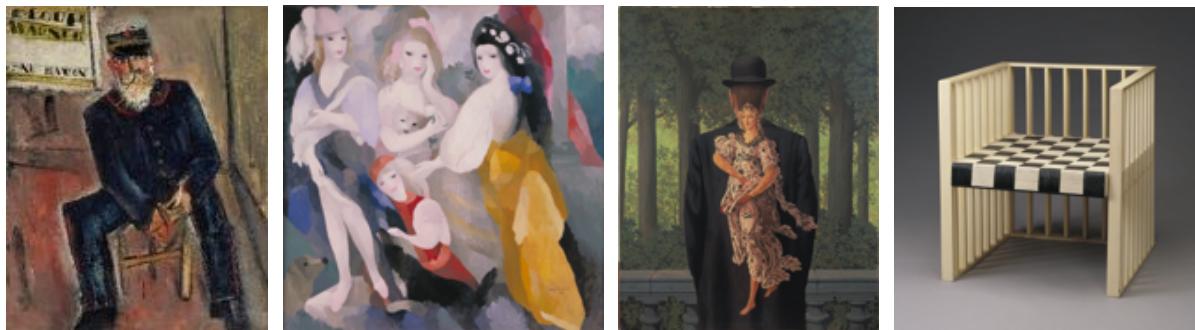
■Hello! Super Collection 超コレクション展 —99のものがたり—

【概要】

大阪中之島美術館のオープニングとなる本展覧会では、これまでに収蔵した6000点を超えるコレクションから代表的作品を選び、全展示室を用いて一堂に公開します。3つの章により当館の収集活動の特徴を紹介し、国内第一級の質を誇るコレクションについて存分にご堪能いただける機会といたします。

それぞれの作品は、収蔵に至るまでやその後の展示活動の中で、多くの人々との出会いを重ね、さまざまな物語を紡いできました。本展覧会では、コレクションに親しみを持っていただけるよう、作品にまつわる99の物語も併せて紹介。そこへご覧いただく皆さまの「100個目のものがたり」が加わることでこの展覧会は完成します。本展が大阪中之島美術館のコレクションを楽しみ、当館を末永く愛していただければ幸いです。

【主な出品作品】



*作品キャプションについては別紙「広報提供用画像一覧」をご参照ください。

【展覧会名】 大阪中之島美術館 開館記念 Hello! Super Collection 超コレクション展 —99のものがたり—

【会期】 2022年2月2日（水）－3月21日（月・祝）

【会場】 大阪中之島美術館 4、5階展示室

【主催】 大阪中之島美術館、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿

■モディリアーニ展 —愛と創作に捧げた35年—

【概要】

大阪中之島美術館の開館を記念する特別展として「モディリアーニ展 —愛と創作に捧げた35年—」を開催します。イタリア出身のアメデオ・モディリアーニ（1884–1920）はフランスに渡り、エコール・ド・パリの一員としてピカソや藤田嗣治などと共に活躍しました。

モディリアーニによる人物像はアーモンド型の眼や細長い首をもち、内面的な本質を鋭く捉えます。わずか35歳で命尽きるまで精力的に描いた作品群は、世界中で今なお愛好されています。本展覧会では、国内外で所蔵されるモディリアーニ作品を中心に、同時代のパリを拠点に繰り広げられた新しい動向や多様な芸術の土壤を示し、モディリアーニ芸術が成立する軌跡をたどります。

【主な出品作品】



*作品キャプションについては別紙「広報提供用画像一覧」をご参照ください。

【展覧会名】開館記念特別展 モディリアーニ展 一愛と創作に捧げた35年—

【会期】2022年4月9日（土）－7月18日（月・祝）

【会場】大阪中之島美術館 5階展示室

【主催】大阪中之島美術館、読売新聞社

■森村泰昌×桐竹勘十郎創作公演プロジェクト「人間浄瑠璃」（仮）

【概要】

「人間浄瑠璃」は、日本を代表する美術家の森村泰昌と、世界に誇る伝統芸能「人形浄瑠璃文楽」の人形遣い桐竹勘十郎が初共演・創作する新作を大阪・中之島で発表するための一連のプロジェクトです。また、本作は「心中天網島」「女殺油地獄」「曾根崎心中」などの舞台になった文楽の聖地“大阪・中之島”に新しく誕生する「大阪中之島美術館」の開館記念公演として発表を予定しています。

美術家の森村泰昌は、美術史上の名画の人物や映画女優、20世紀の歴史的人物等に扮する写真・映像作品「セルフポートレイト」で国内外から高く評価され、巧みな化粧や衣装で、さまざまな時代、人種、性別の人物を自ら演じ、その都度、真理や価値や思想さえも着替え、原作とその背景に独自の解釈を加えてきました。桐竹勘十郎は、立役、女方、チャリまで幅広い役を演じ、その高い技術と表現性は多数の受賞歴を有し、近年は現代美術家・杉本博司演出の「杉本文楽」にも出演するなど、伝統芸能の新たな試みにも精力的に取り組んでいます。

現代美術と伝統芸能を代表する二者が初めて組みする創作では、人形浄瑠璃とは何か？ 太夫と三味線による語りと音の可能性とは？ 現代のテクノロジーと融合した表現による人間とは何か？ といった根源的本質を問います。この前代未聞の作品は「芸といふものは実と虚との皮膜の間にあるもの也」という近世人形浄瑠璃を確立した近松門左衛門の芸術論を進化させ、わが国が誇る伝統文化と現代芸術の共創によって未来を志向するものです。

【名称】開館記念公演 森村泰昌×桐竹勘十郎創作公演プロジェクト「人間浄瑠璃」（仮）

【開催時期】2022年3月初旬

【会場】大阪中之島美術館 ホール

【出演者】森村泰昌、桐竹勘十郎、ほか

【主催】森村桐竹人間浄瑠璃プロジェクト実行委員会



NAKANOSHIMA
MUSEUM OF ART, OSAKA

【共催】大阪中之島美術館、モリムラ@ミュージアム（M@M）、大阪市（予定）、アートエリアB1 運営委員会、クリエイティブアイランド中之島実行委員会

【制作協力】文楽協会

【協力】大阪大学共創機構社学共創部門、大阪大学大学院文学研究科

【プロフィール】



森村泰昌（写真・右）

1951年大阪生まれ。大阪市在住。1985年ゴッホの自画像に扮するセルフポートレイト写真を発表。以降、「自画像的作品」をテーマに制作を続ける。1989年、ヴェネツィアビエンナーレ／アペルト88に選出され、以降国内外で多数の展覧会を開催。近年の主な個展では、「森村泰昌：エゴオブスクラ東京2020 —さまよえるニッポンの私」(原美術館、2020)、舞台公演では、2019年、能の舞台形式を取り入れた「野生“能”」を神戸と京都で上演。

桐竹勘十郎（写真・左）

1953年大阪生まれ。父は二世桐竹勘十郎。1967年、文楽協会人形部研究生となり三世吉田簾助に入門、吉田簾太郎と名のる。翌年、大阪毎日ホール「壇浦兜軍記」で初舞台。師匠からは女方の芸を、父からは男役の芸を学び、多種多様な役をこなす。2003年、父の名跡であった三代桐竹勘十郎を襲名。実力・人気を兼ね備えるとともに、子どもや新しいファンの開拓のため、新鮮な視点で自ら本を書き、出張公演もこなす。

広報に関するお問い合わせ先

大阪中之島美術館「広報事務局」(株)大阪中之島ミュージアム 担当：平山・平

TEL: 06-6205-5611 Email: abd-onm-m@asahibuilding.co.jp

〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18 (株)朝日ビルディング内

URL: <https://nakka-art.jp>

プレス用画像一覧

掲載ご希望の画像番号を申込書に明記し、メールにてお送りください。

No.	画像	画像・作品キャプション	クレジット
①		佐伯祐三《郵便配達夫》1928年 大阪中之島美術館蔵	
②		マリー・ローランサン《プリンセス達》1928年 大阪中之島美術館蔵	
③		ルネ・マグリット《レディ・メイドの花束》1957年 大阪中之島美術館蔵	
④		コロマン・モーザー《肘掛け椅子》1904年 大阪中之島美術館蔵	
⑤		アメデオ・モディリアーニ《髪をほどいた横たわる裸婦》1917年 大阪中之島美術館蔵	
⑥		アメデオ・モディリアーニ《若い女性の肖像》1917年頃 テート蔵	Photo © Tate
⑦		アメデオ・モディリアーニ《おさげ髪の少女》1918年頃 名古屋市美術館蔵	
⑧		アメデオ・モディリアーニ《ポール・アレクサンドル博士》1909年 東京富士美術館蔵	
⑨		森村泰昌×桐竹勘十郎創作公演プロジェクト「人間淨瑠璃」（仮） *注1	
⑩		大阪中之島美術館（建設中）	©大阪中之島美術館 準備室
⑪		大阪中之島美術館 外観イメージ 大阪市提供 設計：遠藤克彦建築研究所	※別途注意点有
⑫		大阪中之島美術館 内観イメージ 大阪市提供 設計：遠藤克彦建築研究所	※別途注意点有

*注1【画像の使用について】

- ・画像への文字載せ、大幅なトリミング、色調の改変はご遠慮ください。
- ・画像使用の際は、キャプションを併記してください。

画像掲載申込書

大阪中之島美術館 広報担当 宛

(西暦) 年 月 日

画像申込みについて

画像申込者	フリガナ	フリガナ
	会社名	担当者名(連絡者)
	住所 〒	TEL
	FAX	
E-mail		
画像送信希望日時	(西暦) 年 月 日	時 分 ~ 時 分
掲載・放送予定媒体名	種別 <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 <input type="checkbox"/> webサイト <input type="checkbox"/> その他()	媒体名・番組名・コーナー名・サイト名
掲載・放送・サイトアップ日時	(西暦) 年 月 日	時 分 ~ 時 分

プレス用画像一覧をご確認の上、希望画像番号をご明記ください。

作品画像	大阪中之島美術館 外観写真 パース図(外観・内観)
------	---------------------------------

注意事項

企画書など概要がわかる書類の提出をお願いいたします。
原稿および記事については貴メディアへ御掲載前に基本情報確認のため
大阪中之島美術館 広報 宛にお送りくださいますようお願いいたします。
掲載後は掲載誌等の送付をお願いしております。

申込先

大阪中之島美術館 広報担当 (株式会社大阪中之島ミュージアム)
TEL 06-6205-5611 FAX 06-6231-4063 Email abd-onm-m@asahibuilding.co.jp